

夢見るアスリート★ Vol. 1

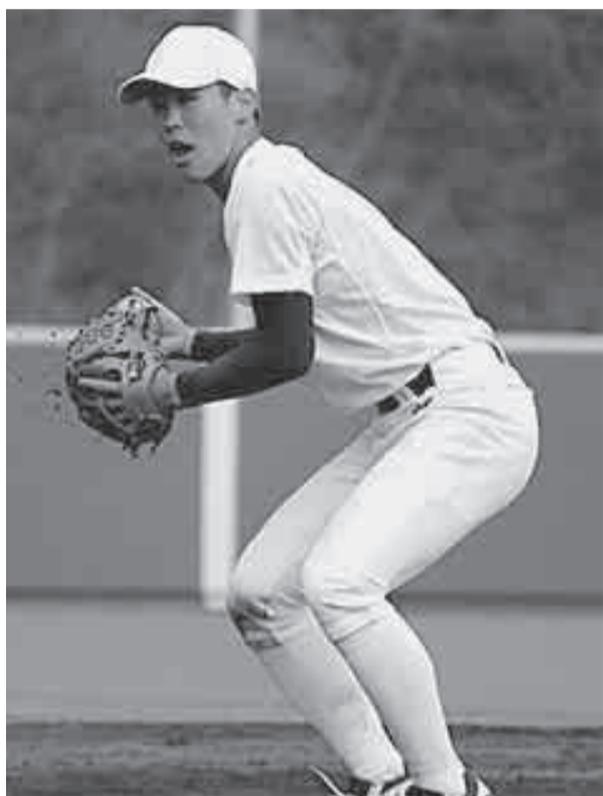
このコーナーは日本のトップレベルで奮闘する稚内市出身のアスリートを紹介するコーナーです。第1回目はプロ野球選手を多数輩出する創価大学野球部に入部した田中宏季さんです。



田中宏季(創価大1年)

2002年生まれ。
稚内野球少年団、稚内潮見が丘中学校、稚内大谷高校では遊撃手として活躍。2020年に全国の野球強豪校から120人が参加する野球セクションを受け合格。今春から創価大学に入学。

「夢と希望を
与えられるような
野球選手になりたい」



- Q 本日は秋季リーグ戦が終わったばかりです。インタビューをお引き受けくださり、ありがとうございます。チームの状態はどうですか？
- A 先日の明治神宮大会の予選で神奈川大学に敗れ、今年のシーズンは終了となりました。来年の春季リーグ戦、全日本大学野球選手権大会に向け、これから新チームが始動します。
- Q この前の神奈川大学戦は惜しかったですね。どちらが勝ってもおかしくない試合展開でしたね。
- A どのチームも必死です。勝つことの難しさは高校時代から分かっていたのですが大学ではさらに難しくなりますね。
- Q 近年の大学野球は慶応・早稲田が頭一つ出ていると思いますが、そのあたりについてはどう思いますか？
- A 毎年ドラフトに選ばれている選手がいて、良い選手が集まるのは当然だと思います。その2つに勝たなければ目標の日本一を達成できないので、当然試合の時は全力でぶつかっていきます。まずはベンチ入りですね(笑)。
- Q それでは田中さんのことについてお聞きしていきます。まず、創価大学は新大学野球連盟所属でリーグトップのリーグ戦優勝45回を誇る強豪ですが、率直に入部してみた感想をお聞かせください。
- A 多くが全国各地の強豪校出身なので、レベルは高いです。また、野球に対する考え方や自己管理能力の高さなど、まだまだ見習う点は多いです。結果を出すには日々の練習を積み重ねていくことしかないので、自分のプレースタイルは崩さずにやっていきたいと思っています。
- Q 1日のスケジュールを教えてください。
- A 大学の授業のない日は6時に起床し、朝食・掃除を済ませたら、9時からの全体練習に備え、準備をします。15時に全体練習が終わり、その後は夕食を挟みつつ、個人練習をします。22時30分までには入浴を終えて、翌日に備えています。
- Q 私自身も稚内大谷高校野球部の出身で田中さんのプレーを何度か見たことがありますが、体の使い方が上手だと思っていました。そのあたりはご自身で意識されていましたか？
- A ありがとうございます。小中高の指導者や父のお陰です。父も稚内大谷高校野球部の出身なので、父から教わった部分が大きいですがね。
- Q 今後の抱負をお聞かせください。
- A 私生活・寮生活の規則は厳しいですが、野球をやらせていただいている事に感謝しながら、目標の“日本一”に向けて頑張っていきます。稚内市民に夢と希望を与えられるような野球選手になりたいです。
- Q 最後に稚内の子ども達にメッセージをお願いします。
- A 努力と揺るがない心があればトップチームや大きな街に出て野球をすることができます。希望を持ち共に頑張りましょう。

充実した設備で
プロ野球選手を多数輩出



今年完成した野球部専用「光球寮」
地下1階地上6階建て



両翼90M・センター118Mの専用グラウンド



3人が同時に投げられるブルペン



ウエイト・バッティングエリアが
完備されているトレーニングセンター

創価大学硬式野球部

- ・1971年創部
- ・東京新大学野球連盟加入
1部リーグ最多優勝45回
- ・全日本大学野球選手権大会出場21回
最高成績ベスト4
- ・明治神宮野球大会出場10回
最高成績ベスト4
- 〈主な出身者〉
小川 泰弘(東京ヤクルトスワローズ)
石川 柁太(福岡ソフトバンクホークス)